

平成30年度地方創生推進交付金事業について

1 事業の名称 アイヌ文化を核とした交流人口拡大・受入体制整備事業

2 申請者 北海道及び白老町（共同申請）

3 事業概要

北海道と白老町が連携して、アイヌ文化や地域の魅力等を発信し、交流人口の拡大を図るとともに、来訪者の増加を見据えた白老町内における受入体制整備に取り組むもの。

【北海道の役割】 道外・町外からの交流人口の拡大促進

象徴空間PRアンバサダーによる魅力発信、道外・町外への地域の魅力発信

【白老町の役割】 来訪者の増加を見据えた受入体制整備

来訪者のおもてなし、ガイド人材育成、誘客拡大に向けたコンテンツ造成

4 事業期間 平成30年度から平成32年度（3カ年）

5 事業一覧 別紙工程表とおりに

6 総事業費

479,484千円（道312,080千円、町167,404千円）

7 年度別事業費

平成30年度 216,233千円（うち町57,168千円）

平成31年度 208,183千円（うち町55,168千円）

平成32年度 55,068千円（うち町55,068千円）

8 KPI及び目標年月

項目	開始前	H30増分 1年目	H31増分 2年目	H32増分 3年目	KPI増分 累計
事業で実施した町内を周遊する着地型観光プログラムや教育旅行に対する体験プログラム参加者数(人)	0	+620	+2,330	+1,350	+4,300
道外への魅力発信イベント入場者数(人)	0	+2,100	+2,100		+4,200
DMOが支援を行ったアイヌ工芸品・特産品等の新商品の売上高(千円)	0	+2,300	+2,300	+2,200	+6,800
事業を通じた新規のおもてなしガイド登録者数(人)	0	+30	+30	+40	+100

工程表

取組内容		平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
アイヌ文化を核とした交流人口拡大・受入体制整備事業	〔魅力発信〕	象徴空間PRアンバサダーによる魅力発信		連携	交流人口拡大	
		道外・町外への地域の魅力発信				
		広域観光圏誘客プロモーション活動に対する支援				
	〔まちづくり・おもてなし〕	来訪客に関する情報収集・分析等				地域の魅力向上
		着地型観光プログラム・教育旅行に対する体験プログラムの造成、販売強化・収益モデル確立				
		アイヌ工芸品・特産品等の商品開発支援				
		まちづくり会社(白老版DMO)設立に向けた事業計画策定支援、設立	収益性を高める観光コンテンツのDMO事業化・運用			
		観光資源魅力発信プログラム造成・ビジネスモデル構築・販売強化				
	〔おもてなしガイド等人材育成〕	誘客拡大に向けた域内の基盤強化				受入体制構築
		おもてなしガイド人材育成・組織化・レベルアップ				
		多文化共生人材の育成／アイヌ文化を学ぶふるさと学習				
		アイヌ文化担い手育成に対するメニュー検討、実践				
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 雇用の確保など安心して暮らし続けることができる地域社会 — 地域経済の活性化 — </div> </div>						

(工程表の説明)

○魅力発信

- ・北海道独自の文化であり、白老町観光の要である「アイヌ文化」の魅力を発信するため、著名人をPRアンバサダーに委嘱し、発進力を強化。(平成30～31年度)
- ・道外大都市にてアイヌ文化など北海道や白老町の魅力発信イベントを開催し、あわせて旅行事業者プロモーションを展開し、交流人口を拡大。(平成30～31年度)
- ・胆振地域と日高地域の連携により実施する誘客プロモーション活動に対する支援。(平成30年度～平成32年度)

○まちづくり・おもてなし

- ・観光客の回遊性向上に向けた調査やDMOまちづくり会社の収益事業を見据えた調査・分析等を実施。(平成30年度～平成32年度)
- ・町内の周遊性を高める着地型観光プログラムや教育旅行に対する体験プログラムを造成、販売強化、収益モデルの確立(平成30年度～平成32年度)
- ・交流人口拡大や誘客誘因となるようなアイヌ工芸品・特産品等の商品開発、販路拡大、収益モデルの確立支援。(平成30年度～平成32年度)
- ・まちづくり会社(白老町版DMO)の設立に向けた事業計画策定支援、物販事業の収益モデルの構築(平成30年度～平成32年度)
- ・観光資源を活かした研修プログラムの造成、販売強化(平成31年度～平成32年度)
- ・誘客拡大に向けた域内の基盤を強化するため、アイヌ文化・芸術の体感映像化や地場製品の生産拡大に向けた取組、多言語対応や観光客の利便性向上を図るための二次交通の調査・実証実験などの受入環境を整備(平成30～32年度)

○おもてなしガイドなど人材育成

- ・観光コンシェルジュとなる「おもてなしガイド」の人材を育成し、組織化を図る。(平成30年度～平成32年度)
- ・多文化共生に対する理解促進を図るとともに子供たちを対象としたアイヌ文化を学ぶふるさと学習の実施(平成30年度～平成32年度)
- ・アイヌ伝統工芸品制作等の担い手育成のためのメニュー検討・実践支援(平成30年度～平成31年度)